

『だから あなたが祈るときは』

【2日目 わたしたちにも祈りを教えてください】

2025 年 1 月 9 日(木)

【テーマ聖句】

「イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに、『主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈りを教えてください』と言った。」

(ルカによる福音書 11 章 1 節)

クリスチャン人生の中心

祈りは必要不可欠なものです。「毎朝、祈りをもって仕事を始めなさい。これは成功と霊的勝利がもたらされるための永遠の務めなのです」(『教会への証』 第 7 巻 194 ページ[英文])。

弟子たちはイエスが祈る姿をしばしば目にしてきました。彼らはイエスが自分たちとは違う祈りをしていいることに気づきます。弟子たちは霊的に導かれた人々で、献身的な思いを心に宿し、神様に仕えたいと常に願っていました。イエスと共に安息日を守り、什分の一を忠実に返し、清い食べ物を食べて生活していました。イスラエルの人々は、特に弟子たちは、祈り方を知っていたはずですが。

私たち自身も祈り方を知っていると信じています。子どもたちでさえ祈る方法を知っています。しかし弟子たちがイエスの祈りを見て自分たちの祈りと比べたときに、自分たちは祈り方を知らないことに気づいたのです。だから彼らは「わたしたちにも祈りを教えてください。」(ルカ 11:1) と言ったのです。

私たちは、祈りがシンプルなものであるべきだと考えています。事実、神様は最も単純な祈りに耳を傾けてくださいます。しかし私たちにとって、祈りの生活を絶えず向上させることもとても重要なことなのです。弟子たちは、自分たちが説教しても、誰にも関心を持ってもらえないことに気づきました。彼らは癒しを試みたり、悪霊を追い出そうとするのに、何の力も表すことができません。そこで弟子たちはイエスに何をすればよいのかと尋ねました。イエスは弟子たちに「祈りと断食」をお勧めになります。

イエスは、人が神の力に頼らなければ何事もすることはできないことを強調しておられます。成功するためには、真剣に祈る必要があるのです。パウロはローマ人への手紙の中で、わたしたちはどう祈るべきかを知りませんが、“霊” 自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださる(ローマ 8:26) と言っています。

「祈りは魂の呼吸です。それは霊的な力の秘訣です。・・・祈りをささげることをおろそかにしたり、あるいは都合次第で、時々思い出したように祈りをささげるようでは、神とのつながりが失われてしまいます。」(『祈り』 20 ページ)

イエスの生活は力強い祈りによって支えられ、しばしば一晩中祈りに時間を費やされました。「イエスご自身も、この世に住んでおられたときによく祈られました。・・・彼は、すべてのことにおいて私たちの模範です。・・・彼の人間性は祈りを必要とし、また特権としました。イエスは父なる神と交わり、慰めと喜びをお受けになりました。もし人類の救い主である神の子でさえ、祈りの必要をお感じになったのであれば、弱く、罪深い人間は、熱く絶え間ない祈りの必要性をもっと感じるべきです。」(『キリストへの道』改訂第 3 版文庫版 132 ページ)

イエスは一日を始める前にまず祈りを優先されました。「朝早くまだ暗いうちに、イエスは起きて、人里離れた所へ出て行き、そこで祈っておられた。」(マルコ 1:35) イエスは祈る時間と場所を決めておられたのです。

弟子たちが「祈りを教えてください」とたずねたとき、イエスは「この言葉を使って祈りなさい」とはおっしゃいませんでした。事実、イエスは弟子たちに、同じ言葉をくどくど繰り返してはいけないとはっきりおっしゃいました。(マタイ 6:7) イエスご自身も、ヨハネによる福音書 17 章で状況に応じて、異なる種類の祈りをされました。「祈りとは、友だちに語るように、心を神に打ち明けることです。」(『キリストへの道』改訂第 3 版文庫版 131 ページ)

私たちは祈りにおいて、神様と対話するように正直に心を開くのです。祈るたびに同じ言葉をただ繰り返すなら、それが惰性になって自分が祈る言葉を考えることもしなくなってしまうです。

祈りとみことばの学びはいつもセットであるべきです。祈りによって私たちは神様と対話し、神様はみことばによって私たちと対話をなさるからです。イエスは祈りの生活をおくられました。朝早く起き、祈るために特定の場所へ移動し、公然と神様と対話なさいました。イエスは私たちの模範です。イエスは私たちに、彼の模範のように祈るようと呼びかけておられるのです。共に祈りましょう。

祈りのグループの種類や、祈る方法はさまざまです。今から 30～45 分間、聖霊に導かれるままに、一致した祈りの時間を過ごすことをお勧めします。以下は、御言葉に基づいて祈る祈りの一例です。他の聖句を読んで祈ることもできます。祈りのアイデアについてはリーダーズガイドをご覧ください。

【神のみ言葉によって祈る】

「イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに、「主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈りを教えてください」と言った。」

(ルカによる福音書 11 章 1 節)

「イエスはある場所で祈っておられた」

父なる神様。イエス様が祈られたように祈る方法を教えてください。私たちは日常的に集中力を欠き、忙しさを言い訳にしていることを正直に告白します。私たちが毎日、最も良いときにあなたとお会いできる場所と時間を選ぶことができるように助けてください。私たちの人生の優先順位を変え、あなたの臨在への導きを第一とする新しい習慣を形成できるようにしてください。

「主よ、祈りを教えてください」

主よ、あなたが弟子たちに教えられたように、私たちにも祈りを教えてください。『主の祈り』という美しい祈りの模範を与えてくださったことを感謝いたします。私たちを聖霊で満たし、私たちの祈りの生活をとおして家庭や教会を、そして地域社会を祝福することができますように。あなたの御国が来ますように。

【さらなる祈りの提案】

感謝と讃美： 与えられた祝福を具体的に感謝し、神の恵みを賛美する

告白： 数分間、個人的な告白を行い、神の赦しに感謝する

願い： 現在の課題や決断に知恵を与えてくださるようお願いする

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神が祝福してくださるよう
に祈る

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈る

静かに耳を傾け、応答する： 静かに神の声に耳をかたむけ、賛美と歌で応答する時間をもつ